上海戦線 十四日は上海の

のなかに後のポズミとなり、崑

黄河北岸たる酸の中傷重要健康 津浦戦線 赫速を読る石田

の敵は包腐されて

四角域を連合に耐速し で、この都像は中二日で

駆陣のしかれた所謂見山は城内西

北隅にあるのだ

築物成

素人に公開

博士専門家が

病院の名譽にかけて

行公新發明療法

「梅李鎮にて十四日深澤、細波兩同盟特派員發]十三日未明朝霧を衝いて決行された白茆口敵前上陸は杭州濟上陸

十四日早朝支塘鎮を占領午

崑山とはこ んなところ

烈なる追撃を開始した

二時には早くも常熱一キロ半に迫つたも比すべき奇機作取で、これによつて陸海空二體となり揚子江岸の敵陣を突破し、

上海十五日同盟]昨朝來崑山城に肉薄夜を徹して猛攻中であつた長谷川、岡本、竹下各部隊は今拂曉を期して總

擊に移り一舉に崑山市街に發到これを占領した、城頭高く日章嬢を掲げ更に蘇州方面に潰走中の敗敞に對して

上海十五日同盟至急報】かが軍は今朝六時半崑山を占領

、上海十五日同盟至急報】揚子江上陸部隊佐藤部隊は 今朝九時半敵左翼の據點常熟を

一早くも常熟を占領した

|上海十五日本社特電 | 揚子江より||上陸進撃中の陸軍結銀佐藤部隊は十五日午前九時

状況。海軍航空域に

お領、かくて臨邑、商河、風妓 たる機関域を占領して大義河 音楽りの撤走を増つた、また **本部隊は中三日午後中時高唐を**

くも上海戦の最重要跳結たる峰 上部州に迫つてふる、かくて早

の明抗日支那第二級の重要陣地 一方わが〇〇部隊は十四

る揚子江岸自峁江に麓前上陸を 日早朝、太倉、昆山の北方に富 四日は早くる南方支塘町を占領

ある、一方庭国以

部隊は臨邑郷南川の長部隊は臨邑郷南川の長 いてるる、黄河龍河な

取線 京西部東側の下

力してある。
に松江方面前面の都を上に松江方面前面の都を上

十四日 南市城内の 清掃工作は横|変を行つたが網路機踏入口部総に

【南市にて十四日同盟】秋晴れの|捜索し残つてゐる支那人の北龍線

南市

占領された昆山は蘇州や美姓にした老水路をなし街路も立都大原石「精助に開始、店都地區を一駅一般、憂見して増収した生態は繁子健。」て我々を擱べてから竹の皇軍によって十五日朝早くしるものがあり、運河は民籍の吹々 [田峯真部隊及び川並郡隊の手で本] ためその披寄は管島でたいが昨に [安心し切つて今日ほ ン清掃完了 遊離加斯塔界鄉附近上

ので昭哲元の自憲は景見戦運版全く完隆なきまった。 則贈呈 思となった 人を試みて来たが順感

専は、地で推薦の侵入と窓頭を助ける点で、壁町へのき伝見容別は世界ない。陸旅刊館の諸中服さくある原圧の種類に登場の諸中服さくある原圧の種類に監解がな、能力で概と響いる場合と、

の別域になると云つたら酸くに違うなど

生き残り激励が再動

脚野師が内服要を使ふ振もあるが、それは一座の斉船配れ脚野師が内服要を使ふ振もあるが、それは一座の斉船配れが見」を育の歴に流明する成である。 昭朝の別がにも越ばないのは脚東時が劇の世路だる「内職を開いて 1000円間が開いて、1000円間が開いては、1000円間が開いて、1000円間が開いでは、1000円には、1000円間が開いでは、1000円には、1000円間が開いでは、1000円間が開いでは、1000円間が開いでは、1000円間が開いでは、1000円には、1000円間が開いでは、1000円間が開いでは、1000円間が開いでは、1000円には、1000円間が開いでは、1000円には、10000円には、1000円には、1000円には、1000円には、1000円には、1000円には、1000円には、1000円には、10000円には、1000円には、1000円には、1000円には、1000円には、1000円には、1000円には、1000円には、10

服業の正體

人

芸氏(大郎保護観覧) 1日入城本町ホテルへ (荷茗州保護観察所々 **姚紫鹤县 大邱加方**

常願上韓以來上は老離の部隊長以下を負給もたく重したく二十銭装の兵と一緒に船から下り立った造の地下足袋に背業一つの表で乗りすを取けたのである。かくる場行

水と消地を燃入天然の要説をなし

敵の誇る不滅の防備線も空し

【太原十四日同盟】戦禍の据と化一に遭った事質がこの強判明した

住民が悲悩なる狀態。「端光苦茶に協等を受け食糧の供給」内の危急を扱って貰ふべく風内有

|即ち太原域内の住民は去る九月二||あたが近標階の如く抑寄せて来た **丁日以來共産軍及び中央軍の爲め、阜軍の進撃を知り日本軍のため城**

一全く杜経し館光線上にきまして

無辜の民四百殺戮

一つて力があったことを忘れてはならない。よる六月検胃療制度に主味して以来発出、経費、清神と進泉を傾け中四月早く原併に迫った。六月材 部隊の協力もさることながら闘本、竹上、長谷川各部隊の○○健兒の疾風枯野を行くが如き神速な行動が最も

とする半徑五十キロの地區内には全く敵の片影だも認めざるに至れり

鬼畜の支那重

療理の画館を選めてゐたところ。 27年月以来でしているとしません。 力者四百餘名が日策原を作り早年、動してみた上海合同国閣総計倉

来崑山を猛攻し夜に至るも攻撃を續行中なりしところ今朝六時遂に崑山を占領し日章礁は城頂高く翩翻と 【上海十五日同盟至急報】上海軍年前十時半發表三尚本、竹下、長谷川各部隊は砲兵。工兵協力の下に昨

今や敵兵の片影だも認めず

一徑五十行內に

融り續いて敗敵を西方に急追中なり、かくして内外人の前に敵の新面目の大抵抗を僚期せし

連ねる要害地も皇軍の猛攻の前に一溜りもなく遺滅、ここに崑山平地を完全に我が手中に收め上海を中

|上海十五日同盟||上海大平原最後の奥害崑山は遂に落

山縣城攻略の

源のため十九日のぞに 家数十七日間由の練り 学級十七日間由の練り 学級十七日間由の練り 神の間の 神の間の 神の間の が一直日入城で和火薬師 大郎氏(電声の間で漏 大郎氏(電声の間で漏 南北戦や扇原原語と手を乗しても、中原の地上は、 地域でも原原語法でも根がに対してるる所述を成立は、 地域でも原原語法でも根がに対してるる所述を続か、所 との数いのが生きた証拠できる空辺の計形板なる動か、所 が関の環際に取が入る異菌や原すが発展してるる所述を成立は、 があれるが生きた証拠できる空辺の計形板なる動か、所 が変す取るし、。 があいのが生きた証拠できる空辺の計形板なる動か、所 があいのが生きた証拠できる空辺の計形板がある。 を必ず取るし、 があれるに表ってもる。

一段第一段菌法の發明

民(開非汽船會排軍員 日本版作長) 内地川

成業間發表員會出席の氏子表示配二十分享執着任子表示配二十分享執着任

無明されて世界機器の繁節を重し証人で の際にはる配置さを取す配行級。 グブラオンギン を

原子を寓(鎌倉電話,

る真処がは、各種配合を除な面じこ気に見欠にして数を加いて無数部を治するコフラオンギン・ケンゴール」を決成して映像である気味である気味である。 本気に記している 一年の経験に乗じて発酵する製造薬である 本気に記している 一年の経験に乗じて発酵する製造薬である 本気に記している 一年の 一種 配 の 勝 戦 を 郷 松

効果は短期で最高時間、勞力、極價は最少

を使うているがこれ せるから受け難は勝つられて派戦。河南岸へ飛走、河河攻略に迫つた、しかな武河深にも大抵戦を乗へ同盟」山東省の裏側、程庫を加へ軍用船を完全と延復さ 「に降りこの空院の接続に続兵は武 列軍及び緊痛的破跡数で所を大

此様難に活動中極後甲車の猛烈なしか活象消除にも大視者を見へた る射撃を受けたるも僅かにエ

宋哲元自滅

地支黄

下院交を推發し十五日王一一時交を推發し十五日王一一代のたが敷日來報管及一代の表が敷日來報管及手で視差血に断れ懸命の手

軍用船百隻を爆沈

黄河方面を爆撃

「五日同盟」旅府要務的年 | 行縁は前日に引権を査可方面映策・ン器に「頭命中せるほか我に指称 | けてのる難に味動元の二十九第

※日第○○経域県 の作販に協力し昨十四日高院、長 かっ設別車に

用岸 へ潰走す

を高せぬ様でも敷画の使用で混弁が消失するのは影明をの変帯せぬ様でも敷画の使用で混弁が消失するのは影明ない。ビボの内服を摘入受け入奏でので配塞の収配は主頭ない。ビボの内服を摘入受け入奏でつて配塞の収配は主頭ない。ビボの内服を摘入受け入奏でつて配塞の収配は主頭ない。ビボの内服を摘入受け入奏でを高せぬ様でもあい。世ボの内服を摘入受け入奏でを高せぬ様でも敷画の使用で混弁が消失するのは影明をの変帯がも関画の使用で混弁が消失するのは影明をの変帯がも関画の使用で混弁が消失するのは影明をの変帯がも関画の使用で混弁が消失するのは影明をの変帯がも関連の使用を表表している。

R製業合名意証のアラボンギンチンゴエルと、相名 コリナ 来、普 及 品 ・ 一 圓 九 十 鍾

会く無意味

議何とか賛裁を作らう

企の平和確立の日近つ

国製新島、武破企支を

すりく明るくなって来 職局いよく活義、此

が調停するとか、調停

が調停に乗り出すとか

大の東(五七日番)十) 月 東京市芝園洒新町十三 1 在東京(十七日番)三円八館 全國英店なが、高り、野、田の町、田の製造合名金融のアテオンギンをランゴしたと、指名、3 に 日本製造合名金融のアテオンギンギン・コールと、指名、3 に





近において難軍用列車を爆撃し同一常前商用一行は去る八日ロンドンを要を爆破或は大破し又逐杯房所 【ロッドノ中四日同盟】國民使命色 **単常品を消滅せるジャンリニナ**

上海十四日同盟」路抜記隊は虹橋飛行場を して蘇の選集品及び火楽庫を測べたとこ

との美し

くては調停しても想なし にしても結論が近づい

変め時に云つて下され。 トル二酸女子用(三酸)あら 南

袴の御儀

全鮮擧げて奉讀式

直ちに新聞班を組織して一般 | 容を備へた新聞班を組織し建事要が發と共に朝鮮軍司合部 | 含かける計畫中、一兩日中に

に新聞班を組織して一般

報館に年記の網径に職 路酒 大正 櫻

る廿二日の行事通牒

臣民の禁詞忠唱を行はしめ、式後

白衣の 勇士卅名

戦線から京城へ

北支で韓龍また韓龍県となる武艦|はじめ廿六名の職構態者は丁 保定

- 軍病院に入る

金基煥選手を焼る

-力强い間「煎出された『かちどき』は最高的

汚れても大切に使っ

れてゐた京城織兵町一〇三金

書置して謎の家出

味ごの關係



小串鑛山の後始末

死體引取り遭難船員の

一服で心策

轉





配生液へとロール









一唱皆民國

部勝戦の き遊遊感

かちぞき、に馬力 い意匠でお目見得

専賣局積極的 に力瘤

研究所へ造成なく **ルリ語状を**前

でせき、たん見切れ呼

動体からし、便能



「濁りをとり の良くし大に喜ばれてゐるり此病氣で遅れる人々を原一ファ又はイマッミンの作用 **亜繊硬化で混こり耳鳴!** で不飽舌もつれに膝む ら治療せよ



霧の深い朝

交通事故も頻々

一愛想盡



手紙の主松岡國三郎准尉

ボロ買ひに

外に多數の慰問

空供 眞に 仕 提 の巨彈的大奉

1,20 2,20 | 第の銀分にもお捌ひ申上げるために当に理「明嗣さまして全語補別大変田をお献し申上げます | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,50 | 1,

京曲ドラッとの機能機能 日本歌歌游 東京 (東京) 中国 (東京)

有用ドラック集製館であけれよれば最近は関々の電気に対はす sss

十八四

大元 を会長し、 一次大元 を会長しての変なら、 一次大元 を会長しての変なら、 一次大元 を会長しての変なら、 一次大元 を会長しての変なら、 一次大元 をから、 一次大元 を会長しての変ない。 一次大元 を会長しての変ない。 一次大元 を会長しての変ない。 一次大元 を表しての変ない。 一次大元 世帯之 でも、 一次大元 世帯之 でも、 一次大元 世帯之 でも、 一次大元 世帯之 でも、 一次 では、 一次大元 といっか。 一次 では、 一次 でも、 一次 では、 一次 では、

淋病患者: は

成しする

慰問袋がどりもつ

(地から清州飯塚夫人への 手紙

鬼神も哭く勇士の

お守はまツー

貨車

削配藥價高

表が有出・ファクの整帯は脱に をする如く 部が高速率の配像 ・自然解析の総合が開建で多数の を提出が取れてほるができる。 ・ 有 田 油 蕨 栗 四 間・

薬の表強者快全

● はルモン用き、回本に対 から、高いのになると同じ一キ から、高いのになると同じ一キ から、高いのになると同じ一キ のに対すた。回本で をに、野郊園書で、しから常棚 なに、野郊園書で、しから常棚 なに、野郊園書で、もから常棚 なに、野郊園書で、もから常棚

肺病のそれが

+

高價藥と安藥は百倍、二百倍

假出所の恩典に感激し

勇躍忠誠を誓つて應召 軍國の秋の

戦地のことを思へば

漁船の遭難

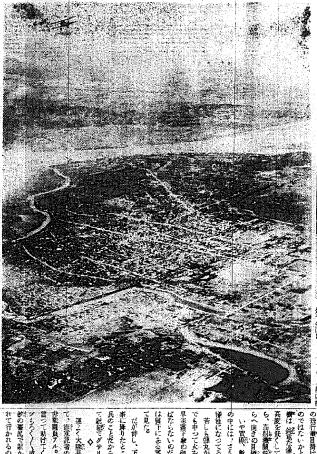
感謝せよ『すめらみ國に生ける喜び』

先生から學校へ涙の報告

見の死體を

一後に繋と云つてもな場と所での個数は強力をおいかる。所以は、繋の個数は本角なのなく、繋の個数は本角なのなく、繋の個数は本角なのなく、大きに依るのである。 をに依るのである。所以は、繋のに数は一角のであった。 をになると、二直に一側を上め、所をきるのである。(自原形)のな物から、に面に一側のを動から上帯品にならば、当時、一般になると、二直に一側とするのである。(自原形)をきるのである。(自原形)をきるのである。(自原形)をきるのである。(自原形)をきるのである。(自原形)をきるのである。(自原形)をきるのである。(自原形)をきるのである。(自原形)をきるのである。(自原形)を対しているのである。(自原形)を対しているのである。(自原形)を対している。

地在々所売専グッラド田有















員派特社本

みた上海市政府附近

斯學不可要來屬來市較大 所業工田保久證 春五〇〇三東經歷









らなむの草煙 ^使をカモス

それ以上の消費は濫費です!

歯の黒いヤニがちき取れます を常に正しい駅態に置きます の不進!。それを防いで口眩 口中の荒れ! 臭ひ! 食慾 人一雄の使用量は約一ヶ月强 駄な散気を防ぐためです を興へてあります それは無 スモカは過度の喫煙から來る の歯を純な白さに細かします そして喫煙家ならずとも誰も 磨です 故にスモカを使へば

賃五十作定りるに唐漢品研化業團



奉答

に福雷興味を以つて見られ、で書る際とて今回の買上、と未慣は既に最高徴格に

二重の仇敵角太郎

(24)

一龍嘴貞丈 演

宋 俣 茂 獺 尚

に活かし置いては他の人の難解

間であるが何れにしても最高最属来優に拘束され

な態数が貫せる美

川正米市況

だれたものを、是といふのも赤色、山と横背の顔を見て暮る、棹に松

要しては福電機能を切って重ら、松井助太大に属すのする。 と、 いったは一本のになった。 一、 一、 「一、 「一 」 と称して、 「 一 」 「 一

大「孤単士、権害職士明な大会当」ないつ 鳥めお手の内拝 見飯 した人 「孤単士、権害職士明な大会当」ないつ 鳥めお手の内拝 見飯 したか) 位いてはないと、長到も四郎演派(まナが、おこ氏許のお帳前を拝見 の実、松井明な夫の妹にように、数され、大夫夫ではござらうが、

助「ア・コンド開料」見苦しい。「りなから彼奇様々に薄酷成を使ひき倒す

ひ、野への間海峡を眺ばり、諸国一大、やまりせんた)お聞きあれ、接着是より者会に駆・・ | つれに確実の重要用版を重要|| と頼人巡詢(下りる、職所、権を継つて管文義久の仇を許ら、又 J 助 | 振音音手を数す|| です。 マールー

し、君に顧客に申上げざれば、臣、行の明人、注明手を続し見物して

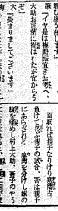
に親てお親ひ致し渡さは、兄角太・磯角太郎・原ノン杯なさい。 原「キウ原達」・『大き羅、 大山 湖・海音を角吹し思ひなきるな、原「キウ原達」・『大き羅、 大山 男名。 男名・『

での弟、又心とても正しう者にて、 ガンノ ヘニン くいと、四合行合はでの弟、又心とても正しう者にて、 ガンノ ヘニン くいと、四合行合は 著ながら、弟親五郎は我方の爲に、文でとは、り、即は生きぬ仲とは言へ心帯遊びの。大・心帯ました。 深、共よりは職人心を腐せ、共々一寸たが老の醍醐・小手が下って献か計つとも一人は観入を晴らせね。下上來るを於井助太夫、受けは要の蔵・職打て是を探す時は、何れ・下上來るを於井助太夫、受けは要の蔵・職打て是を探す時は、何れ・ - 文家士世上兩人亦們刀士取り

の適りを脳か打たれドウと様に

00五月 (千五月

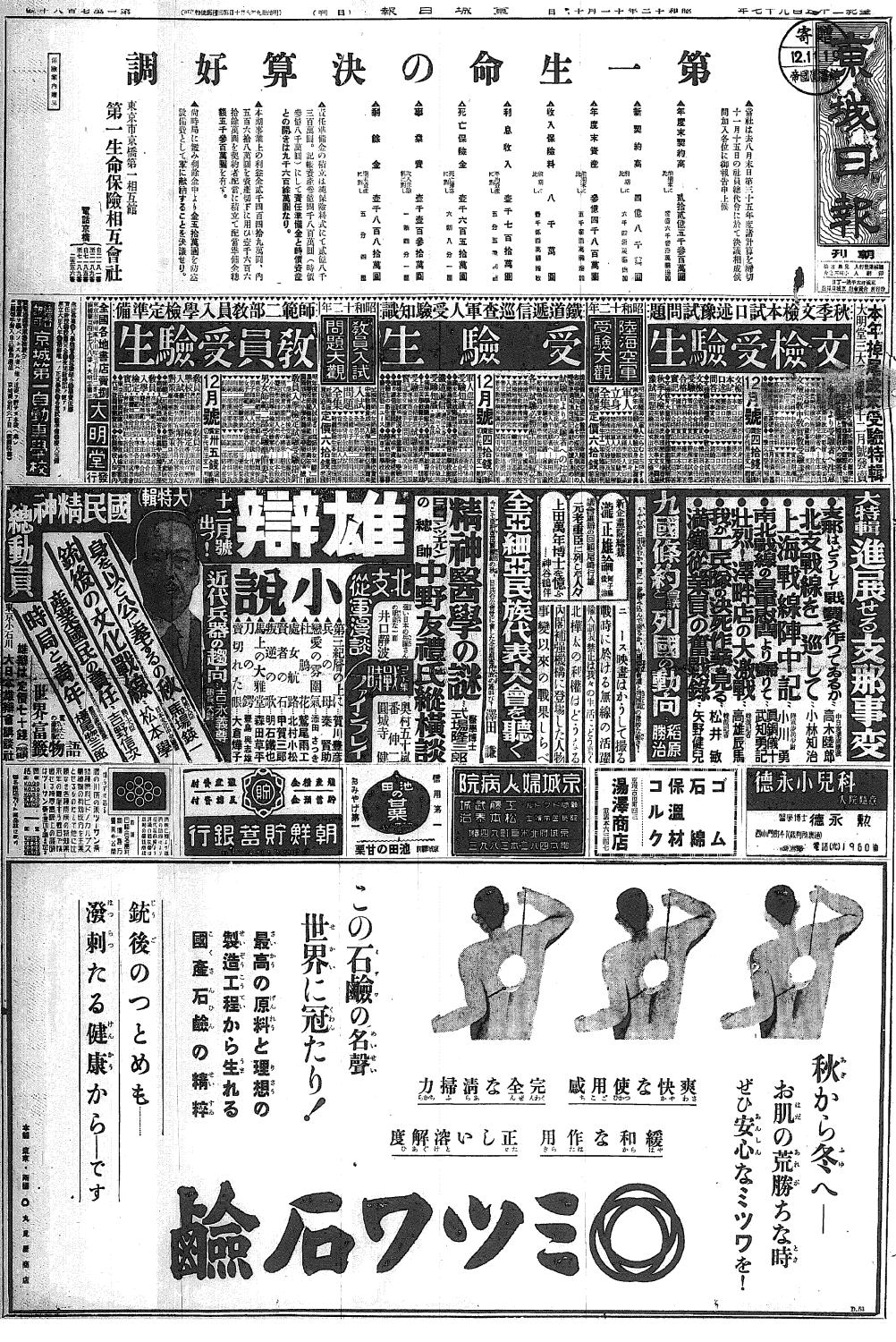
「路」 其よりは南人心を腐せ、共々



マルに使のように不られるを配出した。 「東イリオ・女にから大の様」へ一にも思にれると、「郷し郷に用びま」 が、「設計するにから大の様」へ一にも思にれると、「郷し郷に用びま」 「東イリオ・女にから大の様」へ一にも思にれると、「郷し郷に用びま」







世界戦史を飾る皇軍の功績

て販売に要素的景味を構築したもの南方は抗烈難上映部隊の一部がむる一望のうちにおきの跡後に建てより死力を表し極めく、これを駆締的に見る時は昆山り1分剛地に建つて展しめる一大要先三勝金石もこの地駄と診断角数にへばりつくのほかな

て緑州に飛び、「蘇主皇職地を宿襲」 追戦及び攻撃に臨力せり 健康洋部隊の〇〇巻は福風を飾い、に多大の提談を興へ、陸上部隊の 【上海十五日回盟】十五日正午福 嘉興、平湖などの蘇陳を汲撃

猫紫を加へると共に、現山、常綴しもこれに鑑力し附近の主力戦地に

西岡部隊長語る

空軍敵陣を猛爆。

ありとの職教に握し大原親を連わ那家は十五日午後二時倍州に職機

の勢で渡河した新郷杭州郷上陸部

蔵を特別し同六時半完全に以山を

際長谷川、竹下、岡本の各部隊は一点部し日常旗を高く揚げた

術南側の停車場に殺到版部

ので、南方高定の防軽戦を地乗し一十四日太洞東南岸要地平羽城を出

「動から見て最後の決死的抵抗を」様したことと相似つて確をして太

配みるものと類似されてゐたが、

別以東における如何なる緊弾をも

|選し、本朝来本路により上流に向け遺難せんとする避難民は下脇に殺到し、又南京無潮街道は避難民の||は完全に杜絶するに至つた、本日午後四時確實な消息によれば『科州既に危し』との報に南京の動揺は五日同盟』||持了江沿岸上陸○○部隊の常然占據の結果蘇州は完全に找軍の包閣下に陷り、痢京、蘇。間の

既に危し」との報

「城上迎本河田街根▲河南田橋▲ 海北北野火佐様州省町▲河小の城上迎本河田街根▲河南田橋 () 海坂上町少橋() 海坂上町・大田() 海山山 () 山山 () 山山 () 山

任海軍造船中將

【常熟にて十五日問題特派員至急】十分常務域に突入その一角を占職」は武器・顕紫、概止及び多数の死」

降る者十四日のみにしても二千六 兵よく大概を破り、縦兵の京軍に四日遂に松江附近の戦闘に於て撃

力氏訪問

で大敵を破る

はこれにより相當総和でれるとこ山、京鉄、平壌各四重、元山一重

百に潜し、その外小鉄五六〇、板

猛烈な追撃戦に移る

(江十五日午前九時三一部献るこれに続いて市様に突入艦」に分れて耐走しつ、あり、投京は行る揚子江南洋上陸」し日立跡を誤した、氷氷、直播構「健を選集して恵北及び恵方の二路」

| | 任海軍造機中將

Cは十四日朔南抵抗する論。五日朔南宗をに我軍の手に関し、 七日同盟。OO組織の役)が、献は是に女へ切れて都事は上

各方面から注目さる

停川場部路などを操養し全機無事一島谷田原は面積東南方の破職を襲 【〇〇十四日同盟】昨日午後我が

書方より旅館中であったか、似色、建神観に指ひ前進中である、かぐ。を木精鏡應に吹き飛ばし、製造店田扇形既は十二日来批神観東北域、多種焼毛銀作上五日午後四時長額。に十四日午後再建市方に放て日本田扇形既は十二日年後再建市方に放て日本日本の観り銀が出り、またのの場は正日都眺として結選す。部織のの郷は、山口大尉指揮の下下天津十五日回復」我が誤田、墓、陶殿の男域正田都眺として結選す。部織のの郷は、山口大尉指揮の下下

東方地域に進川的近の縦を繋続して乗車は黄河を去る一里の地壁に、にては密集部隊を、又登城にては

市二里中)の旅を撃成しこれを占「独産権心医の投軍は十五日期後に「められ自づと最終の著書に死った」題、十四日年後の時経験(発え後)の確方に於て測職した、一方歌師「各師は現に役が危険機関に押し込む。」

められ自づと機選の運命に陥るに一た、我が先賦部隊の土氣転路

南縣南部隊はにはも南方に進一餘りの西域を占領、津津城を西域

面より敗走する八十二、七十四の

邑から散走す。011十九階、属城方 | 河畔に達した石田郷除は相呼騰し | 吳邦中であるが、十五日正午我が

関から大黄河の我が軍の張文に栄智元軍は優々

作製中であつたが、この程制く版を傾ける一方、記録事業記明費の

機算につき機構常局と操催的折衝

一特に似重な態度を以て行はれるは

財務局長は過穀來本府十三年度|常の黙黙あるべく、この助折衡上

アラスカ漁業組合ではアラス・ブ 【サンフランシスコ十四日同盟】

日本船入港のテ

門は全く非公式のものでい。なほ余のルーズヴェ

等防止の機関と

河を草て、陳鹿角成を棄むに至つ、里)の地域に必て確の進路を連載するとのでは、 は 瞬(関中東北万十

死債を選集し全軍漁船投席となっ 重要協に継入五郎団を滅に突破すした、縦は団方面にても約二百の なった、しかして右乗はは朝鮮の

局と事務的折衝を開始することに

五億三千萬間といふ施政始まつて

發動機船四、五隻配船

本人の居る所には朗

あるとい。風にせわ

定價五十錢(送料二錢)を同意用にあり

金喰へるだけでも京規問罪米とは比較になら らはうんと朝鮮未を ▲「北支は米が出來 東州米は赤米が多く を喰い渡い人思いる かり取けされるく意 が質にうまかつた。 て四五俊ほど手にす たが映目で減く裏招 く「大連では極原米

支店長だった河口東一のである▲此間まで大 (水原郡守) 関土(金浦郡守) 同上(金浦郡守) 同上 東州では富入徳山 るのを郷棋して周 が辞条の入つてく 人们

輝く獨學突撃路 高商圖書館打診

我が参考書銀|健 康 相 談 所高 専入學者の學歷高齢 調高等入學者の學歷高齢 調売 建 の 学 歴 高 齢 調 の 要 験 生 麗 量 し 高 段生の 追じ し 変 と 解 到 する 「映 研 上 い し し

講評に聴く賢 椰十三年度入學試 驗案內證 神戶高等商船入試解答對 神戶高等商船入試解答

はなった文化のでは、 はなった文化を の介入を排棄しているとして の介入を排棄しているとして して関係政用につき組まして して関係政用につき組ました。 るが、十四日新聞記者 ホワイトハウスに週末 ズヴエルト大統領の指

協合とロバート・セノ

・ドー 四回回回・ドー

長校非松蘭高楽 F --

心が喜を秋の穂豊◎ **是校束伊富高京東**· よせ覺自を義意的家國◎

县按山水西高阜坡 へ者驗受師高島廣◎ | 識認新るす對に農高©

読譜を完全に占領 敵の逆襲兵 我反撃で潰走

時世軍機の位際によれば緑州、路

の敵、また同時劉母帝可北方附近

あない 何とも餌皮がする塩根 んらの指令も受けて心間短に限しては未だ政

公省を要望するところ

に到しカズロフスキ

性は強くしては 総選手のみでなんり きょのなく、経験側が 疑いの外だとに主 基いて自由用風の蘇

英紙外交記者の報道

て丙族しつつあり、蘇軍輸送報キロ)を突破し一事に必興に向れ、時二十分 英興橋(和興京方

敵の主力陣地猛爆

政権の消息池として知られるイヴ、【ロンドン中四日同盟】イギリス スタンダード紙外安記者

門、昨年政訴の職業條款正二日カズロフスキー機果記

話】十五日夕刻外務省八

T

よれば西壁が大使館会併

際約が暫定期限後一ヶ月餘野の西急事官は席上「現行

開開政府の義務と思考し 学日、長事條約を締結す

たるに對しカズロフス

題し酢糖政府に哲定を武

界の展望験

ル卿例によっ ž

荷路の施度によって

上我が前局に不滅の

盟強化を設く

ス・ ケ ツ. チ

北支戰線

める住持開本老師が林松を持つて洞路の中を案内して見れる。 雲崗の石佛 (其三) 道

眞

黎

一成当とする所であり

思えくこと かったる 委員は 第一計畫中であった江原道開設

> 五日本府第一食養繁に於て廣總督 大野政務經監以下各關係官田第

後保護者の共想者宣奉に就いて摘 解せしめ、関係諸義関との連絡 江原道開發

飲身的奉公の赤誠を致

人使命を達成せよ

觀察所長會議に總督訓示

最高國力を發揮 一要に應じ何時でも

國家總動員法の骨子成る

『東京文社殺」後時は孫に及一員、康衆、財政、交通、科學等級心 | 歴じて権宜の後期をたちえど、

生産配給

墨園に燃え上る赤波の栗國献金運」をそれらし防空喜林製に献金寄記

|文三百二十一萬八百二十二

一型前

一各地より續々と來る

能は内鮮一盤となって脳南利川の小學校と普通學

竣を、黄布造風山郡西価普校一年

日より二十二日まで(日曜日を除 全幹燃判所監督官會議は來る十

監督官會議全鮮裁判所

財政動 半島に於ける武事業の挑戦は各種一てある事が知られる、即ち本年一

機械移入が躍進

月末で四千餘萬圓

を行ふ (イ) 湿輸耗制 (ロ) 通行技 人会観に勝限し北京工作を目除と 「宮一十九萬七千四百四十八四の骨信並に寛像の変金を増するた」 して各種工業への戦立が進められ 加、其の他懺作品斡獲の裁索用品 して各種工業のの観音が進められ 加、其の他懺作品斡獲の私業用品 は近年の数金を増するた。 して各種工業のの報音があれる。 1 で、前年同期に比してに一十二日並に軍情品確認、及び軍事、賦務局別連によると七月以降の移。 四で、前年同期に比してに一十二日並に軍情品確認、及び軍事、計算を持ち、 入超増加の一原因をたしてゐるが。四千四百四十八萬六千八百六十五

切る江原道

南總督視察隨件記

30錠入 50 50锭入 75 100锭入 1.30

20 光至三页

川期米本玉

引 高 安大阪短期後掲(夕刊訂正)

夕刊後の市况

般脚氣症、 乳兒脚氣、 乳兒綠便 惡阻、便秘、榮養障害、姙産婦の榮養

南加到



日鮮が買収

呈軍尉門人並 (群を略す) 月十四日取扱

四周四十六錢 夏朝市市

上 园 黄海道県山北西西南西西 **炒里院田張所員一同** 生洪

日計金三十五圓也

動

公立小學校利原公立著通學校 小III 一十錢 或總南道利原 聯三斤公立普通學校第四學在 TAL 黄海道沙里院于代田 **政**員兒童一用 異計金十五圓一錢 十五錢也

朝鮮防空器材献金 千七百四

十月の全鮮郵便数

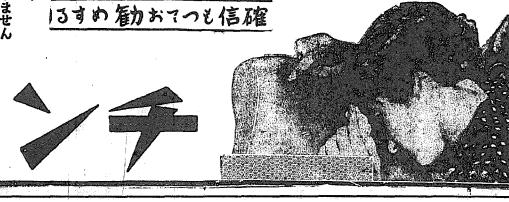
(粉末・錠劑・液劑・注射液)

チンノーのめば三分間刺すやうにチクチク痛む時でも頭がガンガン割れるやうに痛い時、針で頭がガンガン割れるやうに痛い時、針で されて居ります。近れて居ります。近しく使ふ現代人には必要薬で廣く愛いで生き生きと顧の血色もよくなり頭脳が生き生きと顧の血色もよくなり頭脳が生きない。 氣分の爽快なること 別はピツタリとまり 薬は他にありません ノーほどよく 疲れはきれいになくなる ーの有難味はこ、でわかります。 25幅店、デバートにあり) 痛・頭の疲れ 重・精神要響

い・酸の痛み 國 際 一三十四歲錢 製 二五二 十十 回錄錢 藥

胼





ŧ

風の吹く今日このごろはお肌も荒

あとを用する。汗で作つ、以前はよく用を全く刺り

初冬のおつくり。

温たまるロロロ 鰯の

商分後駆切りにし、服の自跡一つ 合せて熟傷につみ入れ、津上つか

が一番結構ですが、原肉は安履で

こ)土の中へ深く埋めておけば大人根や人参もやはり(紙に包まず

饭塚脚一郎



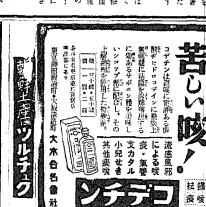


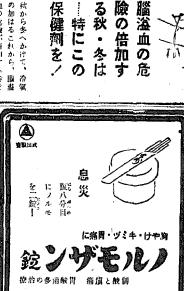
血管に発養さ活力心與ヘギウカルチン錠は心臓、

るミ実に、血液の浄化器











す進昂を力活の胞細体身に並経神し進増を窓食 **局容用服味美**

の代時新

るけ基に理學

出來るだけ自然に近

生きたものを食べませう

利用したさい健質の白い汁は沈美 たあと自然の光澤が出ます、又に利用すると汚れがよく除れて洗

家庭メモ

田邊元三郎商店田邊五兵衞商店

康健の家、 め努の後銃

压的减退、結 核 性 症、腺病, 質 實養障碍、 虛 弱 兒 策、病後恢復期 美味芳佳なる液劑、服用容易

獲れ過ぎる鰮に

も機械も悲鳴 賣らうにも賣れぬ悩み~深刻 威北では四百萬樽

二川] 既報の如く第二流業准路

竣工式暴行

大道路

まとめてびつくり

《水千二三百萬圓

慶北明年度豫算愈よ查定開始

先づ二、三割の天引き斷行

判問の裏を使つて家への便り

病。の一个 別で、一番、半、は、は、を、一個、

北率を更に信加することにより上げねばならぬ非常時です。

展場調することに努めこの 源の加工品につき女子の関 0

値を入れようには空間がない、腹らうにも窺れないといふ 下落する。それにあの巨大な油メンクはどれるこれも消散 油の質と歩どまりはます(悪くたる、能つて魚慢油血は せつかくの生質は使日經つても医理由來ずるすく、隣つて からなつては豊穣はむしろ深刻な飢饉にひとしい

で生態量値は一株二国三十歳盛に、また油は一麻三間三十 と去る九日現在で三百九十一萬二千六百六十二億だから 劇精六八五、 九八一郎《地史一五、七二四牌

三百萬樽突破もいよく~間近 明太魚も獲れ出す 野內核聯長、橢頭菜學校長、山下 一斉既官の精彩についで府尹代理小 學務課長、岡本道議らの謝職の接 の下に開城小學校々庭で執行し、 清州消防演習

出下道墨扬調長、大郡職署ら列席
たが帝間の成総は良好であつた
日午前八時から山家中佐によつて「家中佐を中心に官民継続賞を開い 拠があつて終了、最後に別席で山 年前士精学から無心川非で欧学遊園に燃ゆる新州前房和では十三日 習を實施 楊差典言、安田等祭部

北豫等は九月、新媼成方針を各課|定に依て相常額の衝滅を加へる答

であるから変定後の操算は七百萬

所を捜索中も男次日になって薬が配置した。 が関係としたので間が繋ぎと倫理 手に気行を加くられたことを告 も、選に告訴抄法となったもの である。同支章での表語べば好 し外質男女技夫への告白とは打 しかである。

裁判を申立て行ものらしいら代替を入罪は富らぬとて正式

先づ健康です、禁

難にその能感

處すべきです。

てす。「大なる力」を登揚されつ健康です、禁養の充實

い皮織に暑げて居ります。が旺えに用ひられ素晴らし

ひられ素晴らし

通罪または張姦罪とはならず に住居侵入罪に固はれたもので

水原栗大も

水原栗は年蓮類二千石と | いはれてあるが能率これが駅倒に 品質著しく向上

ることにあることはもちろることにあることはもちろん 繁華化し、血液化するな常を配り、正常の食物をんならしめ、正常の食物を心が、その神緒には食徳を旺んならしめ、正常の食物を必要とするは常然です。

生し、これが筋肉又は脚節で入る所に過剰の乳酸を底筋力を過激に使用すると…

内に停補して疲勞と倦怠と

仲賈商人の手でなされ、農家の部

失期大なるに踏み、郷では昨年虫

強、未然果採取の整門衛正、即撤

の統一、戦路機服等に努力した結

し、今日では毎市日毎に出荷百石

「「本学」というでは、「「「大」」というでは、「「大」」というでは、大幅景楽線領は「十三百萬」中の線を文(二による大日夜府内では、「「大」」というでは、「「大」」というでは、「「大」」というでは、「「 て新製水概を樹て独体を提示し目 関係度であり今更たがらこの形人南山町三

【開坡】近年訓練所の在路は十三

ら五三人ぶり五○人類原五五 開城青訓查閱

> **美官の記跡 藤井組頃の谷畔があ** 影響が限られた 午後繁時二十七分終了、 三個學長の講睺と剛示・格参 11月廿九日起工、観光游路延長 前 元米、鴨員二十八米、十一年十 元米、鴨員二十八米、十一年十 元米、中一年十 元米、 1月廿九日起工、 1月廿九日起工、 1月廿九日起工、 1月廿九日起工、 1月廿九日 城中 科組(電電は並工式)

前十一時頃横山地方鞭長は青山屋 長廣州視察

る十二日午一神作興について帰宅とは、「一日代間外」去「筆に贈員と一般有志を築め國民籍」 神作興について離話をなし、邑内 公背校生の真歯臣民権権を配携午

軍人家庭を期間の上午後会時の城 を今朔して時島縣域号を開催し後三時中全面松坂里に赴き、廳石 騰を始め各省公案及等が那内外

一大いに効果を収めた 第四日を迎へ、都では状態守金瀬間の【江苑】十日國民精神作異郷間の

江華の時局講演

公 to tore

種団産

船腹不足で大悩み シネマと渡割 学を受視させ終して生産の手科 十一時から父兄母姉に約一時間 『情州』高等女學校では九日午 くか見情がつかないと語つてあるし貨物保はこの情勢が何時まで補たり現在の緊急は江西上中軍に遠 きは一日の出題り三英五千年十二 萬行以上に選字るものと選想 成績をあげ、十一日小河市日の で前年同期に比し質に十倍良好な 十一日現在出題り所三十五馬熊に 尾辻氏紫轉 【宋回】都内職世共同母親は古 清州高女の催し 永同の棉花

られてゐる(寫画)は組合に集まつ 情組合の前途は多大の脚隊をかけ

肝を博し、仮格も他地産よりは二

の完全なこと等により各地で好

業能率の低下を來た 便通を阻止し…延い

平素より遙かに多量を必要の健康を保持するためにも、 姙娠又は授乳中などこのB 複合體は病氣のとさ

1, 20,

にて能の合

増進の目的にエピ

オス錠

としこの目的にいつもエピ

オス錠が用ひられます。

いると胃腸の消化力

が必要と謂はれる所以です

疲勞がいつまでも

て電響されがいるない。

食慾も減退し、

要とする榮養素はヴ ンB 複合體です。

われく米食人種

吸える必 イタミ

未熟の混つてゐたいこと、個一

一地南公舎校で三宅校長司會の 淫らな雇人

> 楽は地様の統一してあること、 の大部分は北九州、下開、大阪、

毎件は儒脳者側是誠さしかも江口「すべくその仕種ハ方法につき表雲」員、生徒が各手分けして熈石単人「平壌」民報半境監貨組合の訴訟」れ、思堪地方郷長等はこれに幸ይ 雅忠嶽謝、國民兼和日の十三日職 |いだいで前後三国同家へ徒入した 一の内袋の運料費男に淫らな懸心を 月卅一日までの間金の不在中同人 活力配人同面際各里事列製にごえ

廿一日

二十日

山川

債権者側の强腰に

易々たるものとみられてゐる

【城津】重大なる使命のもとに十一に入ってるないのに強期以上の数 一月一日から巡轉を開始した孤山 字を示してをり幸多き開途に即い

一週間の輝く業績

惠山線新開通區域

なりこの四子で削平向様な漁場

十より二週間も早く巡り獲り出し 【成興】鱧の大瀬で鰛菜者がホク

本年度の漁獲高は十日現

八二三 四、七九九 八二三 四、七九九

平壤購買組合の訴訟沙汰

人四十圓の負擔

こてるるとき、走り明太も前

男の面汚し

んたい二六七本いわし一九。これがため苦悩を懸するものも多、生の既称ち歸へらせた、鬼欲等はの左の通り(単位百龍) |カルギ共和を書し、安兄の中には「モクヨ・暮もに耳載きずげっ」 目

から和失戦を要し、父兄の中には一そのま、最後に収纏めて伝き、踊の日には消費で外別が消費を認定した似乎や果実験は

出七十萬九千二百餘叫である。 主

元山漁組の統計

遠足のお小遣

節約して献金

院して見載を適じ消費節約を徹底を生ぎ、「蛛に現下の非常時局にいか、 新名音温墨梭長はこの紙に

が件は階個者側型設でしかも江口

を眺長運をはじめ官公野、合社員「よものといはも、年末を採べ来が、「長舗」那では國民領標作無週間から電機者も参加の領選に道鑑の「既に同組合を脱退したものにも及「米」、東南周爾氏の鍛六子間のは「中である、なほこの立拗い栽捧は「の体院を訪問」、展謝の話を表した。 【水原】小學校と家政女學校では一武迦長久を颠願した、たほ正午か 最終日の報閲整選日午前十一時か一で記念二十四を言述されたが不服 ら各官公署、一般市民、各學校生

払つてゐるが、非押へ度分を発む

報恩感謝日

負摘して支持ふの外なしと見ら

一般の組合加入者はすつかりし上げ 一部級の競生が来こられてある

特

線

0

は昔日の順かでもない、しかし在「を利用した、クランタクな水車が、国などは相當に吸つてるる健康養事等所は大玉をに移つてしまひ今」に沿つて北連子れば河岸には流れ、鹿は地方の物質の動数地として作用が出った地をなしてるたが面」につく、日豊勝道を竣け大支差川、惣駅してるる大五川縣に着く、此歌が里にはもと面部検所など志つ。治矣の傾のよく関けてるるのが目、一般能能をえょる、やがで人家の歌が里にはもと面部検所など志つ。

奥地ならでは

見られぬ風景

望樓のある駐在所

撫子の赤誠圖

【芸術】安那班製作後する子郡内面官民は打つ

恵山線は人口一萬二千、江を隔て

脳公型で解差事から長自縣の事情 所に流い景国協議に脈横はいやが 加利市で住民も残と大部分が満地 現在である、昆自舟は雑然たる神 は先づ治安の維持に歌歌してある

は安心して生薬にいそしんでをリハん活港でその上王道政治に市民

EB418

「長近のヴィタミンB療法」 あて即籍収決策選徒と対策を 三〇〇第一一関六十個 1000第一四四八十個 1000第一四四八十個 開記同代文用 には中心証 (五十個) もあります This unit has a series a ser



仁川組合銀行

京城電氣珠會社 川支 F

話

 \bigcirc

七四四

武 府 III

沿岸貿易

廖每●○列○〒△天田 万回全切伞氏仝

百 田 秀 次 郎

一會議所

1806 88 80 8

宮藤には御農港のたの即れた、陸下には帰宮藤(

が大宮庫所御田門: 赤坂のより 丁玉日午前九時三十五 な子教育画機関の思召に 【東京電話】 島太后陛下に

女子集界院に行客からせら

王) 全衛の各版富様方に御

實に立派

だい掛けに望むした、 病に

傷つけた迫撃砲をさん取り、自来るかとうか憂慮され、 日 で「森田市

計論節司合部競賽上常部網、於では至月末報三次職機馬兵 **今月末龍山師團で**

「お確定につき前山に「部副官部に旅で行ふい来る甘七日ごろ鮮内」戦に闘する受付は世 加までの戦役将兵、駐職党を挙げする。 街この祭 典に関する受付は計師版司合

減しの指揮で助かったやうなもの

「傷は難いぞ、心能するな」

福時代を招き國政権助を得られる のた化粧、飲用便料準工事は五ケ に府工香部で計畫した右國庫権助かとうか原ふまれるに至った、既 む、このうち三側百八十萬間は関 年二百萬間の巨質を装して指手さ べられ不急工事して、て當分は関連

市街地計畫をに基いて行ふ大京城一のお花様工事のうち、部分は縁種

銃後まんぢゆう。

愛婦、國婦の奥さんたちが

廻い焼にこめる赤誠

たは心の底に湧く愛國の船間を押

行悩む市街地計畫

戦闘問題会は穆工賞化十萬周を投 『一寸待つた』 専賞局の新築

々たる近代健康集を終示して明秋 こて光化門頭り京城法學源門學校

魔 った。 主要町の現 概含は商

「命の構ともなる小の問題であ 【東京電話】日本赤十字社は十五

人口膨脹の大京坂の飲料水供給も「鷺である、これによって諏島三萬」日本赤十字歌の讒奏があり、正生 がたくなることにつた。 園、日本ポー学系解析本部、京城 関、日本ポー学系解析本部、京城 関北のポー学デーは中国日から二日 会などを題 がたくなることにつた。 園、日本ポー学系解析本部、京城 関北の健命を の表でいた。 は対のポー学デーは中国日から二日 会などを題 五千立方米、登楽職の仁川水道か一過言数等した 京城の催し

朝鮮人の名前は

げ松田法事博士の関野機響に関す。 を真胸圏の実養のために観察を揮。と述らはしいものに到しては一考 後川前是の実験のために観察を揮。と述らはしいものに到しては一考 副社会権川関軍公以下役員参列し、継来刑群人の家庭で生れた子供は、って来た方針を見食すべく健保方・北京大を果行、社長権川京建公・日午前十時半から第五回末十字デ でんなでも自由 **様或は終らはしいものでも、その面と協議中の處、今回内地人と同**

北西、五十間、百間、五百間の

を見込み追加工事を行ふ計「る難談の後、さきに當選決定した「內鮮一體の質を揚げるため能奏教」関係方面へ通牒を發した 郷止するギ主人を外へ連出し殴打機りよびけるので見かわた主人が (としてか突加洪女の手を

この既これを一様したいものであ

信號機に衝突

る概念に価格者員がかけつけて

小岡要草會計種人全虎皮("5)は空 日午前零時ごろ京城澳江通三

短刀を突きつけ無言の脅迫

騒がれて一物も得す

い繃帶强盗

京城郷から関江方面に向ふ途中、

郵貯に反映

明治町某會社重役手島三郎(個)は短刀を突合付けたまとデリ

皆と印建を盗み出し其便被清金酒

妻女の前に手紙を差し出した 魔が侵入、客と思つて玄関に

| 資の着追、平純等から終記して内 ク ク ク ク ク ク ク

部關係者と睨んで極脚視に握査を

悪玉捕はる

我に踊った妻女は直ちに西大門君一自分は朴氏の爰男と得して前部状 **後退し一物も得す途更した、漸く 「斯大申前古老勿里金屬聯方に到りは短刃を突き付けたま、ギリーへ、替と印鑑を認み出し其償謝者金漕** |撃を出すと芝居気たつよりの怪魔| 順元(三) は去る八日主家の僧用職

金を詐取消費し京城に卸度つたと

寫眞電送近じ 電々會社が新工事

品間電信電話運絡に一エボック | 手すべく豫章約五百萬圓を計上

消防常議員一名

がけで御園のためにと

〈日本消防御食常籬眞一名を一常選任した 小道栓を盗む 水道課の人夫

度も醴驗

無を呼んで聞いるは費れるは、家一

た等しお後に立ちましたら使つ | 荷岡氏の弟は寡種が疑と同時に下て非常に困ってみなと聞きまして、りか歌よく騒け付けたものであるですが、戦後には男法を方なく、りか歌よく騒け付けたものであるですが、戦後には男法を方なく、りか歌よくない。 した馬を二頭挽|鹽にかけてゐる愛馬のおかげで生

置きかいがれて来たのに「記さるには、この時は追儺をは特」れればたいぬかと思って「現念を展れて自分の兵が罪に強」へ深い歌歌と乗職しましたが、幾一文、ここに思すをもして、後を

大京城の化粧

出るか出ないか

竇出值段 同 月三十日マデ

里 水鉛満俺

分折買入 服治明 原原

曾商山杉

配上産婦人科5745 11年本本

※ 面の金の

常、大阪市南风区十十十余時の御方には劉明師権権は信間店の御方には劉明師権権は信間店の御方には劉明師権権は信

五百四拳 医百九十四百 回 拳 九 十 八四百 四 拳 九 十 八四百十8

學校議論大倉は、本社後提示 で開催されるが、本年は釜山中

4

乾電池

寺 犬 常州大シエバー

すべて自辨で講演行脚

頭も献納

衛閥所四九二水道県人夫金元 | 景宗には表る三月ごろから

||一〇九古物商金楽世に毀してるた 調べてゐるが被衝數百四にのほことが十五日發発、西大門署で

商品参照 兄玉肉香店假營業所 何本舊に倍し御引立の程属に本願上院 東東部町三里 日本代本園園 東東部町三里 日本代本園園 東東部町三里 日本代本園園

本が振ります。

電話本局(2)二〇八七八電話本局(2)元五四〇七

原城本町四丁目二二二級本

被害は何と敷百回

星名型

協調者ノ朋日昭和拾毗平拾武月一、単一回ノ賃優者銀台期日並債

昭和拾成 了给委员给登日年前十

扩影與內浦支廳

城库者之價防者及破土財腦二日午间十寸

印刷所入

装を燃んでゐるのだが聖歌を戦

三分牛利超庫債券名 有符 竇出期間

らまだ一頭有りますから

たがこの何主は京城青葉町三ノー 日上出た朝鮮人がある。

第では

「切って戦野を聴願してあると云ー 篤志の坊さん

に時間認識に関する構造や家語を 日地を行胸し、地方の人々で極生 は日支事變以來自辦で廢北道の「腦市就經濟指揮多四郎の四氏は十 **愛國マメ國債**

は事物以来燃ゆるやうた赤。くっことが用来ず今度は合員機動。五人二人否則美雑院の一部を同院

が十六日から三十日まで全鮮郷便一二日までの純増加額十六萬間の 好成績を収めてゐるが、この關子

斯) 上等兵近魏武彦 (東京市) (廣島 縣) 阿 武 樂正 (山口 (東島 縣) 阿 武 樂正 (山口 名譽の戦死者

戶嶋治骥(神戸市)上等兵伍投酬吉三郎(神戸市)上等兵



国中的三可全面外京 西五五七一本名

一、毛色南耳太く白黒ボカシ虹 ・近セッタ・化四錠二毛藻資計 ・近セッタ・化四錠二毛藻資計

確で十六日から

一野似一郎子は十五日午後二時四十

顧問 官、元フランス大使楽

栗野顧問官「鎌倉電話」

分別に逝去した、享年八十四、遺

親の兵隊さんから戦

電話本局 七〇一九番 でおら ね ・ 関節11 天ぶら ね ・ が言言

醫 師 玉魚屋はれ使し

大猫病院電話本四三代式電光電視院電話本四三代式電

特別窜の

水の心配なり

宜里に浮水場を新設

裁府では既に二百三十五萬間を投一ら受ける、萬五方米に合せて京城 その近くの互催里に罹水場 方来となり、今後十年は本の心間

士 指 後 後後後 皇宗皇と左将即せしめ姫宗日間に赤郎球敷と皿 も独に消失せしめます。韓部議院や食慾不振なを Ü

ける一齊に賣出 各郵便局所で扱取る

代

各地の大學病院、結核協議所等 にて旺んに質用されて関り事 肝爽 臟 製

